SONY®

4-193-355-**01**(1)

デジタルスチルカメラ
取扱説明書

DSC-TX9

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

⚠警告 安全のために

→ *78～81ページも あわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・ においがしたら 煙が出たら	➡	❶ **電源を切る** ❷ **電池をはずす** ❸ **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**

❷ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**

❸ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**

❹ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターで見る場合、長時間見ないようご注意ください。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
  本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されている全てのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長期間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット]（64ページ）を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(74ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(74ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面に水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

- 純正品以外のマグネット付きケースは、電源誤作動を起こす場合があります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、切れる前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は、画面にメッセージが表示されます。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD方式で記録した動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合はCD-ROM(付属)に収録されているソフトウェア「PMB」、Macintoshの場合はMacintoshにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。
  このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  – High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  – AVCHD規格非対応の機器
  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。
  このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。
  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

撮影内容の補償はできません

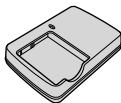
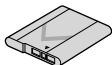
万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

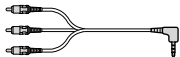
その他 ………… 65

付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSN/BC-CSNB（1）

- リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1（1）

- ペイントペン（1）

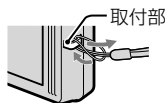
- USBケーブル（1）

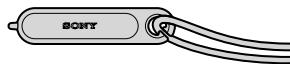
- A/Vケーブル（1）

- マルチ出力スタンド（1）

- リストストラップ（1）

- CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  - 「サイバーショットハンドブック」
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

リストストラップを使う

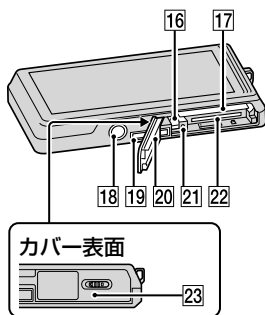
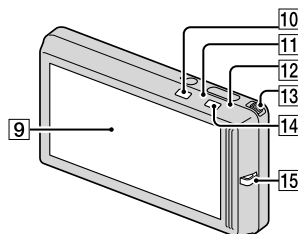
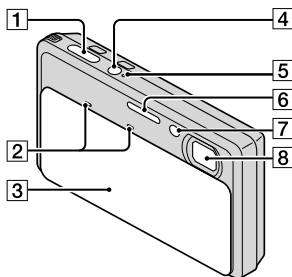
落下防止のため、ストラップを取り付け、手をとおしてご使用ください。

ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。

ご注意

- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

各部の名前を確認する

カメラ

カバー表面

1 シャッターボタン

2 マイク

3 レンズカバー

4 ON/OFF（電源）ボタン

5 電源ランプ

6 フラッシュ

7 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AFイルミネーター

8 レンズ

9 液晶画面/タッチパネル

10 ▶（再生）ボタン

11 （静止画）モードランプ

12 （動画）モードランプ

13 ズーム（W/T）レバー

14 （静止画）/（動画）モードボタン

15 リストストラップ取り付け部

16 取りはずしつまみ

17 バッテリー挿入口

18 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

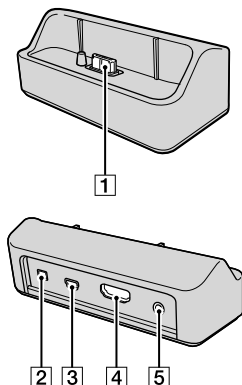
19 マルチ端子

20 バッテリー/メモリーカードカバー

21 アクセスランプ

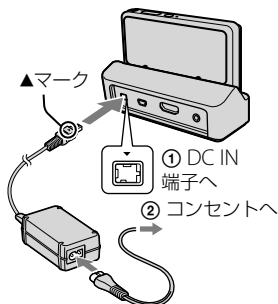
22 メモリーカード挿入口

23 （TransferJet™）マーク

マルチ出力スタンド

以下の場合にカメラを取り付けて使用します。

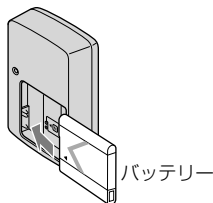
– パソコンとのUSB接続
– テレビなどとのAVまたはHDMI接続

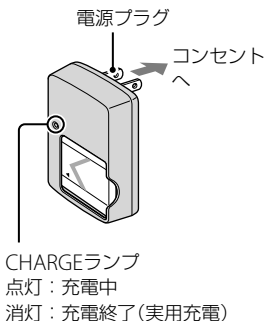
1 カメラ接続端子
2 DC IN端子
3 USB端子
4 HDMI端子
5 A/V OUT (STEREO)端子

ACアダプター AC-LS5A（別売）を使う

- 本機をACアダプター AC-LS5A（別売）に接続してもバッテリーを充電できません。バッテリーの充電には、バッテリーチャージャーをお使いください。

バッテリー充電と、使用可能枚数・時間

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

2 電源プラグを引き起こし、コンセントに取り付ける。

CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。

3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

充電にかかる時間

満充電	実用充電
約245分	約185分

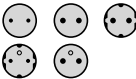
ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

	使用時間	枚数
静止画撮影	約115分	約230枚
静止画再生	約180分	約3600枚
動画撮影	約60分	—

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（別売）を使用
  - 満充電したバッテリー（付属）で、温度25℃の環境
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - [画面の明るさ]：[標準]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 録画モード：AVCHD HQ
  - 連続撮影の制限（66ページ）により撮影が終了したときは、再度シャッターボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については、75ページでも詳しく説明しています。

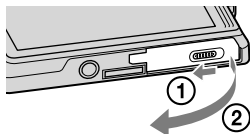
海外でも使えます

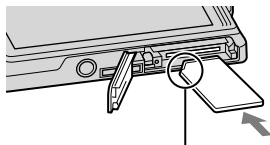
バッテリーチャージャー（付属)は全世界で使用できます(AC100V ～ 240V、50/60Hz)。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

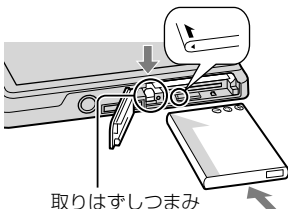
電子式変圧器(トラベルコンバーター)は不要です。故障の原因になるため使わないでください。

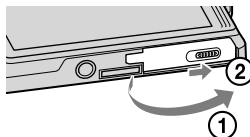
コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

バッテリー/メモリーカード(別売)を入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込む。

3 バッテリーを入れる。

バッテリーをバッテリー挿入口の中にあるイラストに合わせて、取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

4 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

使用できるメモリーカード

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"、およびSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保障するものではありません。マルチメディアカードは使用できません。

- 本書では、"メモリースティック PRO デュオ"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"メモリースティック デュオ"を「"メモリースティック デュオ"」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードを「SDカード」と表現しています。
- 動画撮影時は、以下のメモリーカードをおすすめします。
  - MEMORY STICK PRO Duo (Mark2)("メモリースティック PRO デュオ"(Mark2))
  - MEMORY STICK PRO-HG Duo("メモリースティック PRO-HG デュオ")
  - SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)

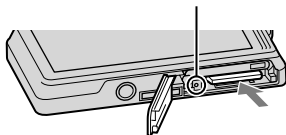
記録できる枚数/時間については、65 ～ 66ページをご覧ください。

ご注意

- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)

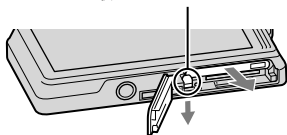
メモリーカードを取り出す

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

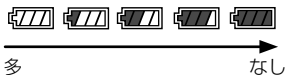
メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約32MB）に画像が記録されます。メモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUをタッチして（設定）→（メモリーカードツール）→［コピー］を選びます。

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

バッテリーの残量を確認する

液晶画面に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

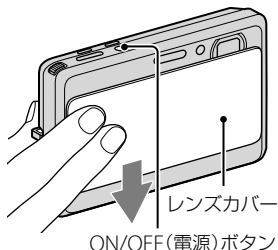
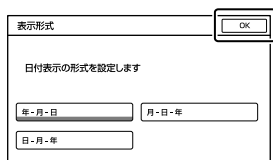
多　　なし

ご注意

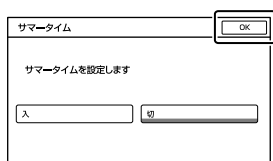
- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- ［パワーセーブ］設定が［標準］または［スタミナ］のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、液晶画面が暗くなり、その後自動で電源が切れます（オートパワーオフ）。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

日時と画面の色を設定する

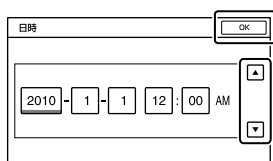
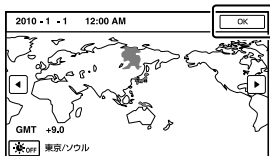
1 レンズカバーを下げる。

電源が入る。電源ランプは起動時のみ点灯します。

- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が入る。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

2 希望の日付表示形式を選び、[OK]をタッチする。

3 サマータイムの[入]、[切]を選び、[OK]をタッチする。

- 日本では、サマータイムは[切]にする。

4 設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定し、[OK]をタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

準備する

5 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、[OK]をタッチする。

6 [OK]をタッチする。

7 希望の画面カラーを選び、[OK]をタッチする。

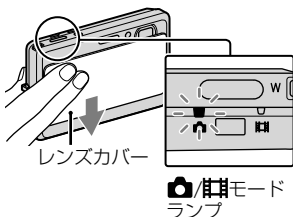
画像に日付を挿入するには

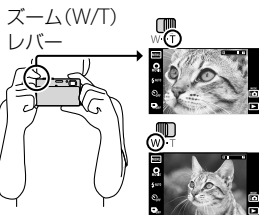
本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。詳しくは、「PMBヘルプ」(50ページ)をご覧ください。

時計合わせをやり直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUをタッチして （設定）→ (時計設定）→ [日時設定] を選び、日時設定画面を開いてください(64ページ)。

撮る（静止画）

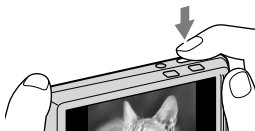
1 レンズカバーを下げ、📷/🎞モードランプが📷（静止画）になっていることを確認する。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

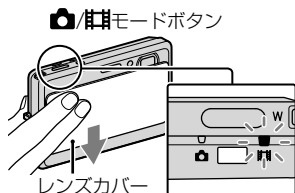
- ズーム（W/T）レバーをT側に動かすとズームする。W側に動かすと戻る。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

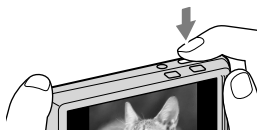
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約1cm、T側約50cm。

4 シャッターボタンを深く押し込む。

撮って、見る

撮る(動画)

1 レンズカバーを下げ、📷/▤モードボタンを押して撮影モードを▤(動画)にする。

2 シャッターボタンを押して、撮影を開始する。

- 画面の MOVIE(動画ボタン)をタッチしても撮影を開始できる。

3 もう一度シャッターボタンを押して、終了する。

ご注意

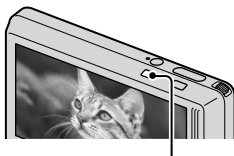
- [画面の明るさ]は[標準]になります。

動画記録方式を変更する

MENUをタッチして(設定) → (撮影設定) → [動画記録方式]を選びます(62ページ)。

見る

1 ▶(再生)ボタンを押す。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると管理ファイル登録画面が表示される。

▶(再生)ボタン

次の画像/前の画像を選ぶ

画面の▶I(次) /I◀(前)をタッチする。

- 動画を再生するには液晶画面中央の▶(再生)をタッチする。
- ズームするには再生画像をタッチする。

削除する

🗑(削除) → [この画像]の順にタッチする。

撮影に戻る

画面上の📷をタッチする。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻る。

電源を切る

レンズカバーを閉じる。

- ON/OFF (電源)ボタンを押しても電源が切れる。

状況を自動判別して撮る

1 （撮影モード）→（おまかせオート撮影）をタッチする。

2 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）の各マークとガイドが画面に出る。

シーン認識マークとガイド

3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

2枚撮りで好みの画像を選べ、さらに便利に！（アドバンスモード）

MENU → iSCN（おまかせシーン認識）→［アドバンス］をタッチします。
［アドバンス］では、失敗しがちな（夜景）、（夜景&人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

	1枚目	2枚目
（夜景）	スローシンクロで撮影	感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（夜景&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影	顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影
（三脚夜景）	スローシンクロで撮影	よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影
（逆光）	フラッシュを使って撮影	背景の明るさ、コントラストを調整して撮影
（逆光&人物）	フラッシュがあたっている顔を基準に撮影	顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影

［アドバンス］に設定して撮影したとき、撮影前に［目つぶり軽減］と表示されるとカメラは自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像を自動的に選択して記録します。

さらに高画質に自動で撮る

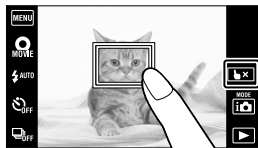
i（おまかせオート撮影）よりも高画質な画像を本機が自動的に撮影状況を認識して撮影します。
i（撮影モード）をi+（プレミアムオート）にしてください。

- i（おまかせオート撮影）よりも記録処理に時間がかかります。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

ピントを合わせたいところをタッチするだけで、ピント位置を変更できます。被写体が動いても、シャッターボタンを半押しするまで自動でピントを合わせ続けます。シャッターボタンを半押しすると、被写体の位置、ピント、露出を確定します。

1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできる。
- ピント合わせを解除したいときは、×をタッチする。

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、枠がオレンジ色の［ ］に変わる。
② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。
③ 登録を解除したい場合は×をタッチする。

パノラマ画像を撮る（顔・動き検出対応スイングパノラマ）

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像は付属のソフトウェア「PMB」でも再生できます。

1 （撮影モード）→ （スイングパノラマ）をタッチする。

2 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す。

- （撮影方向）をタッチすると、撮影する方向を変更できます。

撮影されない部分

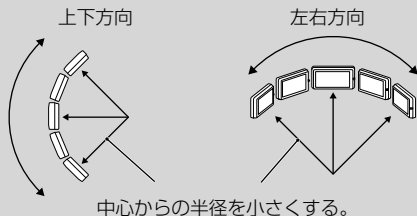
3 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。動いている被写体よりも、止まっている被写体のほうがパノラマ撮影には適しています。

3D画像を撮る

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して3D画像を作成します。

1 **(撮影モード) → (3D撮影) → 好みのモードをタッチする。**

(3Dスイングパノラマ)： 3D対応テレビで再生できる画像を撮影する。

(スイングマルチアングル)： 本機を左右に傾けて立体的に見ることのできる画像と3D対応テレビで再生できる画像を撮影する。

2 **撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す。**

撮影されない部分

撮影に便利な機能を使う

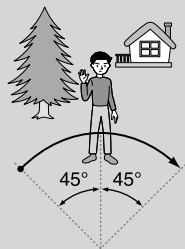
3 液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ガイド

3D撮影のポイント

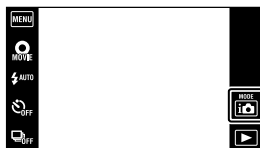
一定の速度で円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。3D撮影には止まっている被写体が適しています。

- シャッターボタンを半押しして、ピントや露出、ホワイトバランスをロックしてからシャッターボタンを深押しし、カメラを動かしてください。

スイングマルチアングルの撮影範囲

中心にしたい被写体に対して、左右45度を目安にスイングしてください。

被写体の背景をぼかして撮る（背景ぼかし）

背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影します。

1 **（撮影モード）→ （背景ぼかし）をタッチする。**

2 **シャッターボタンを押す。**

うまく背景をぼかすには

- 本機に表示される被写体との推奨距離内で撮影してください。
- 撮影前に MENU →［ぼかし効果］→［高］または［中］、［低］で背景のぼかし効果を変更できます。

連続して撮る（連写設定）

シャッターボタンを押し続けている間、最大10枚連写します。

1 **OFF（連写設定）→ 好みのモードをタッチする。**

OFF（切）：1枚撮影する。

Hi（高）：最高約10コマ/秒の速さで連写する。

Mid（中）：最高約5コマ/秒の速さで連写する。

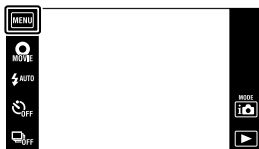
Lo（低）：最高約2コマ/秒の速さで連写する。

用途に合わせて画像のサイズ/画質を選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。

---

1 MENU → 4:3 12M（画像サイズ）、STD（パノラマ画像サイズ）またはHQ（画質） → 好みのサイズをタッチする。

- 撮影モードによっては、画面左側に表示されるボタンから設定する。

静止画画像サイズ	用途例	本機の液晶表示
4:3 12M （4000 × 3000）	A3ノビサイズまでの印刷	縦横比4:3で表示
4:3 8M （3264 × 2448）	A3サイズまでの印刷	
4:3 5M （2592 × 1944）	L/2L/A4サイズまでの印刷	
4:3 VGA （640 × 480）	Eメールに添付	
16:9 9M （4000 × 2248）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA4サイズまでの印刷	画面いっぱいに表示
16:9 2M （1920 × 1080）	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞	

パノラマ画像サイズ	説明
16:9 2M 16:9	左右：1920 × 1080で撮影 3D撮影時に選択できます。
STD 標準	左右：4912 × 1080で撮影 上下：3424 × 1920で撮影
WIDE ワイド	左右：7152 × 1080で撮影 上下：4912 × 1920で撮影

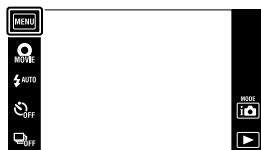
動画(AVCHD)画質	平均ビットレート	説明
FH AVC HD 17M FH	17Mbps	1920 × 1080の最高画質で撮影
HQ AVC HD 9M HQ	9Mbps	1440 × 1080の高画質で撮影

動画(MP4)画像サイズ	平均ビットレート	説明
1080 MP4 12M	12Mbps	1440 × 1080で撮影
720 MP4 6M	6Mbps	1280 × 720で撮影
VGA MP4 3M	3Mbps	VGAサイズで撮影

ご注意

- 16:9やパノラマで撮影した静止画は、プリント時に両端が切れることがあります。

笑顔を逃がさず撮る(スマイルシャッター)

1 MENU → ☻(スマイルシャッター)をタッチする。

2 笑顔を待つ。

スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。終了するには、MENU → ☻(スマイルシャッター)をタッチする。

- スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。

スマイル検出感度インジケーター

顔検出枠

- ☻(大笑い)、☻(普通の笑顔)、☻(ほほ笑み)をタッチすると、笑顔を検出する感度を設定できる。

検出されやすい笑顔のポイント

① 前髪が目にかからないようにする。

② カメラに対して正面を向き、なるべく水平になるようにする。目は細めにする。

③ 口を開けてしっかり笑う。歯が見えているほうが笑顔を検出しやすくなる。

フラッシュモードを選ぶ

1 **AUTO（フラッシュ） → 好みのモードをタッチする。**

AUTO（オート）：暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

（強制発光）：必ず発光する。

SL（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

（発光禁止）：発光しない。

ご注意

- おまかせオート撮影、プレミアムオート撮影時は、[強制発光]、[スローシンクロ]は選べません。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

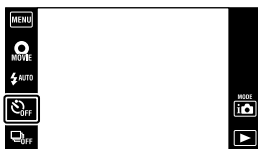
セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 (セルフタイマー) → 好みのモードをタッチする。

OFF(切)：セルフタイマーを使わない。

10(10秒)：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するには×をタッチする。

2(2秒)：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

(自分撮り1人)/(自分撮り2人)：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

「自分撮り」で自動撮影

液晶画面に顔が映るようにレンズを自分に向けてください。カメラが設定した人数の被写体の顔を検出すると撮影が開始されます。カメラが最適な構図を判断して撮影するため、液晶画面から顔が外れるのを防ぐことができます。
ピピッと音が鳴ったらカメラを動かさないでください。

• 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 （撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモードをタッチする。

（美肌）：人物の肌をなめらかに補正して撮影する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（人物ブレ軽減）：室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（逆光補正HDR）：露出の異なる2枚の画像を撮影し、明るい露出設定の画の暗い部分と、暗い露出設定の画の明るい部分を合成して1枚の階調豊かな画像を撮影する。

（夜景＆人物）：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（手持ち夜景）：三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影する。

ISO（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

（料理）：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

（ペット）：ペットを最適な設定で撮影する。

（ビーチ）：海や湖畔などに適した設定で撮影する。

（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにする。

（打ち上げ花火）：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

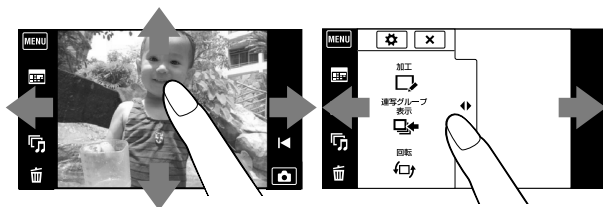
（水中）：ハウジング（マリンパックなど）を装着したとき、水中をきれいに撮影する。

（高速シャッター）：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。

ご注意

- モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面をなぞることにより、さまざまな操作ができます。

メニュー画面の表示/非表示

できること	操作方法
メニュー画面を表示	左側から右になぞる
メニュー画面を非表示	右側から左になぞる
操作ボタンを非表示	左側から左になぞる
操作ボタンを表示	左側から右になぞる
画像を送る/戻す	右/左になぞる
画像を連続で送る/戻す	右/左になぞり、画面をタッチし続ける
一覧表示画面を表示	上になぞる
一覧表示時、ページを送る/戻す	下/上になぞる
日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示	下になぞる

操作ボタンの表示を設定する

画面に操作ボタンを表示するかどうか設定できます。

 → ［表示設定］ → ［入］または［切］

画面いっぱいに画像を表示する（ワイドズーム）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、↔（ワイドズーム）をタッチする。

• 終了するには、再び↔をタッチする。

縦に表示された画像を一時的に横に回転する（一時回転表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して縦に表示された画像を選び、（一時回転表示）をタッチする。

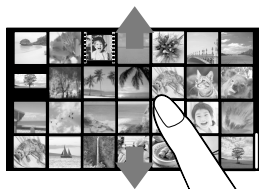
• 終了するには、再びをタッチする。

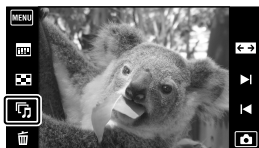
素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、▦（一覧表示）をタッチする。

- MENU → [一覧表示枚数] で表示枚数を12枚か28枚に設定できる。

2 画面を上下になぞり、ページを送る。

- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻る。

音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、(スライドショー) → (音楽付スライドショー)をタッチする。

2 希望の設定項目を選び[実行]をタッチする。

• スライドショーを終了するには、画面をタッチして、[スライドショー終了]をタッチする。

好きな曲をBGMにする♪

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして(48ページ)、下記手順を行います。

① MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード]をタッチする。

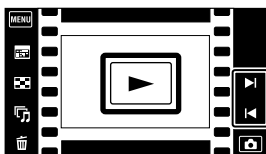
② 本機とパソコンをUSB接続する。

③ 「Music Transfer」を起動して操作する。

詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して、動画を再生し、液晶画面中央の▶(再生)をタッチする。

• 再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

ボタン/操作方法	できること
◁	音量調節 ◁+または◁−で調整する。
⏮	頭出し
◀◀	早戻し
▶IIもしくは画面をタッチ	再生/一時停止
▶▶	早送り
I▶	スロー再生

一覧表示画面で動画のみ表示する

MENU → (ビューモード) → MP4(フォルダビュー(MP4))または AVCHD(AVCHDビュー)で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

MP4 (フォルダビュー(MP4))	MP4形式の動画を表示する。
AVCHD (AVCHDビュー)	AVCHD形式の動画を表示する。

• 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

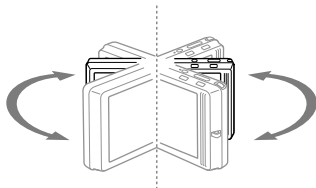
スイングマルチアングル画像を立体的に見る

本機を左右に傾けることにより、立体的な画像を見ることができます。

1 ▶(再生)ボタンを押して▶/◀で3D(スイングマルチアングル)で撮影した画像を選ぶ。

2 (◻)をタッチする。

3 本機を左右に傾ける。

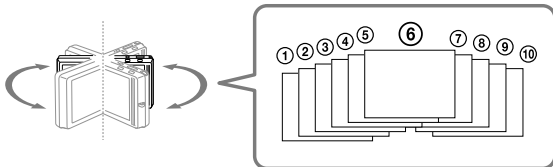
ご注意

- 3D(3Dスイングパノラマ)で撮影した画像は本機の液晶画面で、立体的に見ることはできません。

連写画像を動画のように見る

本機を左右に傾けることにより、連写した画像を動画のように見ることができます。

1 ▶(再生)ボタンを押して MENU → (連写グループ表示) → (グループ代表画像のみ表示)をタッチする。

2 ►I/I◄で連写画像を選び、(((□)))をタッチする。

3 本機を左右に傾ける。

ご注意

- [ビューモード]を[日付ビュー]、[連写グループ表示]を[グループ代表画像のみ表示]に設定したときのみ連写画像を動画のように見ることができます。

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、面(削除) → 好みのモードをタッチする。

(この画像以外全て)：連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。

(この連写画像全て)：選択している連写グループ内すべての画像を、まとめて削除する。

(この画像)：見ている画像を削除する。

(画像選択)：画像を何枚か選んで削除する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

(この日の画像全て)/(フォルダ内全て)/(AVCHD動画全て)：日付・フォルダ内すべての画像、またはAVCHD動画をまとめて削除する。

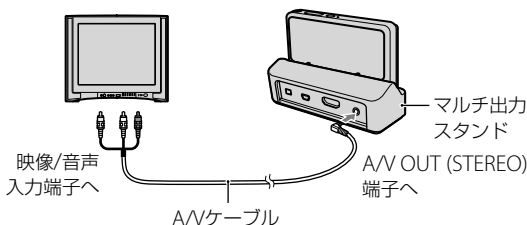
すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

MENU → (設定) → (メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール) → [フォーマット] → [OK]をタッチする。

テレビで見る

1 本機をマルチ出力スタンド（付属）に取り付ける。

2 マルチ出力スタンドとテレビをA/Vケーブル（付属）で接続する。

ハイビジョンテレビで見るときは

HDMIケーブル（別売）またはHD出力アダプターケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。

HDMIケーブルをお使いの場合

- MENU → （設定） → （本体設定）で[HDMI解像度]を[オート]または[1080i]にしてください。
- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。

HD出力アダプターケーブルをお使いの場合

- MENU → （設定） → （本体設定）で[コンポーネント出力]を[HD(D3)]にしてください。
- 「Type2c」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。

3D対応テレビで3D画像を見るときは

HDMIケーブル（別売）で3D対応テレビと接続すると、本機で撮影した3D画像をお楽しみいただけます。

MENU → 3D（3D鑑賞）

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

海外で見るときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。使用する国、または地域のカラーテレビ方式をご確認ください。

NTSC方式（1080 60i）の国
　アメリカ合衆国、カナダ、大韓民国、台湾、メキシコなど

プリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  CD-ROM収録のソフトウェア「PMB」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。
- お店でプリント

ご注意

- プリンターによっては、パノラマ画像を印刷できない場合があります。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENU → （設定）→ （メモリーカードツール）→［コピー］→［OK］をタッチする。その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

お店でプリントする：

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

「PMB」で画像に日付を挿入する：

付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールして（48ページ）、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。詳しくは、「PMBヘルプ」（50ページ）をご覧ください。

パソコンで使う

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。
詳しくは、PMBサポートページ（http://www.sony.co.jp/pmb-sj/）、または「PMBヘルプ」（50ページ）をご覧ください。

ご注意

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。

操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

---

1 パソコンの環境を確認する。

「PMB」、「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7

CPU：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上）

メモリ：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上）

ハードディスク（インストール時に必要な容量）：約500 MB

ディスプレイ：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。
ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

---

2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

4 画面の指示に従ってインストールを進める。

- インストールするには途中でカメラとパソコンを接続する。

5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

ご注意

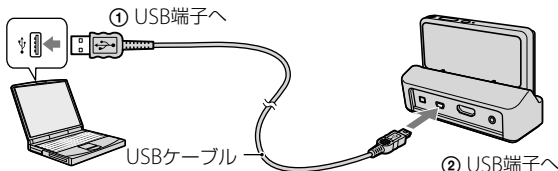
- 「PMB」をすでにインストールしているパソコンで、付属のCD-ROMのバージョンより小さい番号をご使用の場合は、付属のCD-ROMからもインストールしてください。
- 付属のCD-ROMのバージョンより大きい番号をご使用の場合はインストール不要です。本機とパソコンをUSB接続すると、使用できる機能が有効になります。

操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

1 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、マルチ出力スタンド（付属）に取り付ける。

2 本機の▶(再生)ボタンを押す。

3 本機とパソコンを接続する。

本機の画面に「Mass Storage接続中」と表示される。

- 通信中は本機の画面に が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

4 [取り込み開始]をクリックする。

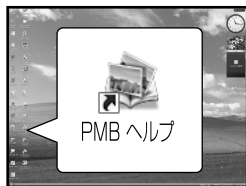
その他詳しくは、「PMBヘルプ」をご覧ください。

ご注意

- AVCHD動画を取り込む等の操作は「PMB」を使用してください。

操作3：「PMBヘルプ」を見る

1 デスクトップ上の(PMBヘルプ)をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PMB] → [PMBヘルプ]の順にクリックする。

ご注意

- カメラの動作中や「アクセス中」の画面が表示されている場合、カメラ本体からUSBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター AC-LS5A（別売）のご使用をおすすめします。

「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。「Music Transfer」はインストールできます。

ご注意

- AVCHD動画を取り込む等の操作は、Macintoshにバンドルされているソフトウェア「iMovie」を使用してください。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

「Music Transfer」、「PMB Portable」使用時、画像を取り込むときの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：

USB 接続 :Mac OS X(v10.3 ～ v10.6）
Music Transfer/PMB Portable: Mac OS X(v10.4 ～ v10.6）

「PMB Portable」を使う

本機にはアプリケーション「PMB Portable」が内蔵されています。
「PMB」がインストールされていないパソコンからも、画像を簡単にネットワークサービスへアップロードできます。
詳しくは、「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

---

1 本機とパソコンを接続する。

本機とパソコンの接続が終わると、自動再生ウィザードが表示される。
Macintoshのときは[PMBPORTABLE]が表示される。

- 自動再生ウィザード画面が表示されないときは、[コンピュータ]（Windows XPでは[マイ コンピュータ]）→ [PMBPORTABLE]をクリックして、「PMBP_Win.exe」をダブルクリックする。

---

2 [PMB Portable]をクリックする。

Macintoshのときは[PMBPORTABLE] フォルダの中の[PMBP_Mac]をクリックする。

使用許諾画面が表示される。

---

3 画面の指示に従って設定を行う。

「PMB Portable」が起動する。

その他詳しくは「PMB Portable」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- 「PMB Portable」使用時は、必ずネットワーク接続してください。
- 「PMB Portable」はAVCHD動画に対応していません。

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。お使いの再生機器に合わせて、作り方を選択してください。AVCHD動画をパソコンに取り込むには「PMB」を使用してください。また、「PMB」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PMBヘルプ」をご覧ください。

再生機器	作り方	ディスクの種類
ブルーレイディスク再生機器 （ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など）	「PMB」を使ってパソコンに画像を取り込み、ブルーレイディスクを作る。	Blu-ray
AVCHD規格対応再生機器 （ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など）	「PMB」を使ってパソコンに画像を取り込み、AVCHDディスクを作る。	AVCHD
	DVDirect Express 以外のDVDライター /レコーダを使ってAVCHDディスクを作る。	
一般的なDVD再生機器 （DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど）	「PMB」を使ってパソコンに画像を取り込み、標準画質（STD）のディスクを作る。	STD

ご注意

- ブルーレイディスクを作成するには、「PMB」インストール画面でBDアドオン ソフトウェアをインストールする必要があります。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)をお使いの場合、データの転送にはメモリーカードスロットとUSB接続が使えます。
- ソニー製DVDirect (DVDライター)を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.jp/dvdirect/

ディスクの説明

ブルーレイディスクには、ハイビジョン画質(HD)の動画をDVD ディスクに比べ長時間記録できます。

ハイビジョン画質(HD)の動画をDVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

- ハイビジョン画質のディスクは、ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション3など、AVCHD規格対応再生機器で再生できます。一般的なDVDプレーヤーでは再生できません。

ハイビジョン画質(HD)の動画を標準画質(STD)に変換し、DVD-RなどのDVDディスクに記録して、ディスクを作成します。

TransferJetで画像を送受信する

TransferJet とは、通信したい製品同士を合わせることで、データ送信ができる近接無線転送技術です。お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の (TransferJet) マークを確認してください。TransferJet搭載 "メモリースティック" (別売) を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。
TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載 "メモリースティック" の取扱説明書もご覧ください。

画像を送受信する

1 **TransferJet搭載 "メモリースティック" を本機に入れ、(再生) ボタンを押して画像を再生する。**

2 **(TransferJet送信) → 好みのモード → [OK] をタッチする。**

(この画像)：見ている画像を送信する。

(画像選択)：画像を何枚か選んで送信する。画像をタッチして選び、[OK] → [OK] をタッチする。

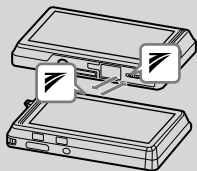
受信するだけのときは、この操作は不要です。

3 **本機と受信機器の (TransferJet) マークを合わせて画像を送信または受信する。**

ご注意

- 送信できる画像は本機で表示できる静止画のみです。
- 1度に送信できるのは10枚までです。ただし、3D画像はMPOファイルとJPEGファイルが送られるため受信する機種によっては受信画像が最大20枚になります。
- あらかじめ、MENU → (設定) → (本体設定)で[TransferJet]を[入]にしてください。
- 飛行機の中では MENU → (設定) → (本体設定)で[TransferJet]を[切]にしてください。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。
- 法規制や法規制対応時期などにより、国や地域によっては TransferJet 搭載"メモリースティック"また、TransferJet機能搭載モデルは発売されておりません。
- お買い上げの国や地域以外では、[TransferJet]を[切]にしてください。国や地域によっては電波制限があるため、TransferJet機能を使用した場合、罰せられることがあります。
- 受信画像を管理ファイルに登録できなかった場合は[フォルダビュー（静止画）]で再生してください。

データをうまく送受信するポイント

本機と相手側の (TransferJet)マークを合わせてください。

- (TransferJet)マークを合わせる角度によっては、通信の速度や範囲が変わります。
- 通信状態が悪い場合、本機の位置や角度を少し動かして、通信しやすい位置を見つけてください。
- 図のようにカメラ同士を平行にして、(TransferJet)マークを合わせると、送受信しやすくなります。

別売のTransferJet対応機器を使う

別売のTransferJet対応機器を使うとパソコンへの画像送信など、さらにデータ送信の楽しみ方が広がります。
詳しくは、TransferJet対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- TransferJet対応機器をお使いの場合、以下の点にご注意ください。
  - あらかじめ、本機を再生モードにしてください。
  - 画像が表示されない場合、MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN 設定]を[シングル]にしてください。
  - 接続中、本機への書き込みや削除はできません。
  - 「PMB」に画像を取り込み中、接続を中断しないでください。

TransferJet通信は以下の規格を使用しています。

TransferJet規格： PCL Spec. Rev1.0 準拠

Protocol Class Name（通信種類）： SCSI Block Device Target
OBEX Push Server
OBEX Push Client

- 別売のTransferJet通信機器と接続する際、上記の"SCSI"という通信種類を使用します。同様に、カメラ同士で接続する場合には、"OBEX"という通信種類を使用します。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 MENU → (設定) → (本体設定) → [操作音] → 好みのモードをタッチする。

シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

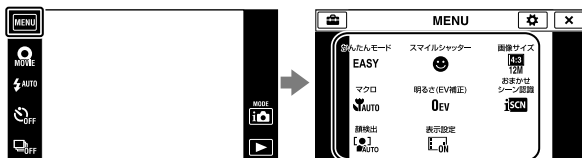
大/小：タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。操作音を小さくしたいときは[小]にする。

切：音は鳴らない。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。

本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。

お買い上げ時の状態に戻すには、MENUをタッチして、(設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

撮影時のMENU

項目	説明
かんたんモード	必要最低限の機能を使って撮影する。
動画撮影シーン	動画撮影時、シーンに合わせて設定を変更する。 （オート/水中）
スマイルシャッター	笑顔を逃がさず撮る。
動画ボタン	動画の撮影を開始する。
フラッシュ	フラッシュを設定する。 （AUTOオート/強制発光/SLスローシンクロ/ 発光禁止）
セルフタイマー	セルフタイマーを設定する。 （OFF切/10 10秒/2 2秒/自分撮り1人/ 自分撮り2人）
撮影方向	スイングパノラマ、水中スイングパノラマ、3Dスイングパノラマ撮影のとき、カメラを動かす方向を設定する。 （右/左/上/下）
ぼかし効果	背景ぼかし時、背景のぼかし効果を設定する。 （Lo低/Mid中/Hi高）
画像サイズ/ パノラマ画像サイズ/ 画質	画像サイズまたは画質を設定する。 （4:3 12M/4:3 8M/4:3 5M/4:3 VGA/16:9 9M/16:9 2M） （16:9 2M 16:9/STD 標準/WIDE ワイド） （FH AVC HD 17M FH/HQ AVC HD 9M HQ）/ （1080 MP4 12M/720 MP4 6M/VGA MP4 3M）
連写設定	連写を設定する。 （OFF切/Hi高/Mid中/Lo低）
マクロ	小さいものを近くできれいに撮影する。 （AUTOオート/拡大鏡）
明るさ（EV補正）	露出を手動調整する。 （－2.0EV ～ +2.0EV）
ISO	ISO感度を設定する。 （ISO AUTO/ISO 125 ～ ISO 3200）

項目	説明
色合い(ホワイトバランス)	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (オート/太陽光/曇天/蛍光灯1/蛍光灯2/蛍光灯3/電球/フラッシュ /ワンプッシュ /ワンプッシュ取込)
水中ホワイトバランス	水中での色合いを調整する。 (オート/水中1/水中2/ワンプッシュ /ワンプッシュ取込)
フォーカス	ピント合わせの方法を変更する。 (マルチAF/中央重点AF/スポットAF)
測光モード	画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定する。 (マルチ/中央重点/スポット)
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 (オート/アドバンス)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (切/低/中/高)
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 (タッチ時/オート/こども優先/おとな優先)
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 (オート/切)
表示設定	撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定する。 (入/切)

再生時のMENU

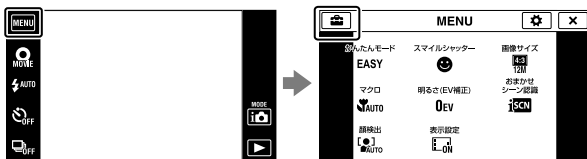
項目	説明
EASY（かんたんモード）	文字を大きくして見やすい表示で再生する。
（カレンダー表示）	カレンダー画面から再生する日付を選ぶ。
（一覧表示）	同時に複数の画像を表示させる。
（スライドショー）	画像を連続再生する。 （連続再生/音楽付スライドショー）
（削除）	画像を削除する。 （この画像以外全て/この連写画像全て/この画像/画像選択/この日の画像全て*）
（TransferJet送信）	TransferJet搭載"メモリースティック"の画像を対応メディアに送信する。 （この画像/画像選択）
（ペイント）	静止画へ描き込みをして別ファイルとして保存する。
（加工）	画像を加工して別ファイルで保存する。 （トリミング（リサイズ）/赤目補正/ピントくっきり補正）
（3D鑑賞）	3D撮影した画像を3D対応テレビで見る。
（ビューモード）	ビューモードの切り換えを行う。 （日付ビュー/フォルダビュー（静止画）/フォルダビュー（MP4）/AVCHDビュー）
（連写グループ表示）	連写画像の表示のしかたを選択する。 （グループ代表画像のみ表示/全て表示）
（プロテクト）	画像を誤って消さないように保護（プロテクト）する。 （この画像/画像選択/この日の画像全て設定*/この日の画像全て解除*）
DPOF	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 （この画像/画像選択/この日の画像全て設定*/この日の画像全て解除*）
（回転）	静止画を左右に回転する。
（音量設定）	音量を調節する。
（表示設定）	再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定する。 （入/切）

項目	説明
(画像情報)	液晶画面に表示している画像ファイルの撮影情報(Exif情報)を表示するかどうか設定する。 (入/切)
(一覧表示枚数)	一覧表示時、画像を表示する枚数を設定する。 (12枚/28枚)
(再生フォルダ選択)	再生したい画像の入っているフォルダを選択する。

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	動画記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。
	AFイルミネーター	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	デジタルズーム	光学ズーム以上のズームの方法を設定する。
	縦横判別	画像の縦横を判別して記録する。
	シーン認識ガイド	シーン認識マークの横に表示されるガイドを表示する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	画面の明るさ	液晶画面の明るさを設定する。
	表示言語	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	画面カラー	画面のカラーを設定する。
	デモモード	スマイルシャッターやAVCHD動画再生のデモンストレーションをする。
	設定リセット	お買い上げ時の設定に戻す。
	HDMI解像度	ハイビジョンテレビと接続した場合、テレビに出力する解像度を設定する。
	HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。
	コンポーネント出力	接続するテレビ端子に合わせて設定する。
	ハウジング	ハウジング(マリンパックなど)を装着したとき、ボタンの働きを変更する。
	USB接続	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMフォーマット	スライドショー用の音楽をすべて消去する。
	パワーセーブ	オートパワーオフまでの時間を設定する。
	TransferJet	TransferJet搭載"メモリースティック"の通信設定をする。
	Eye-Fi	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。
	キャリブレーション	タッチパネルの反応位置のずれを調整する。

カテゴリー	項目	説明
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット（初期化）する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット（初期化）する。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

容量 / サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約32MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
12M	6	344	690	1397	2846	5625
8M	8	482	967	1959	3990	7884
5M	10	582	1168	2366	4819	9524
VGA	207	11760	23600	47810	97350	192380
16:9（9M）	6	382	766	1552	3160	6246
16:9（2M）	32	1838	3688	7470	15210	30060

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が99999枚より多いときは、「>99999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。また、MP4時は1つの動画ファイルの最大サイズは約2GBまでです。

（単位：時：分：秒）

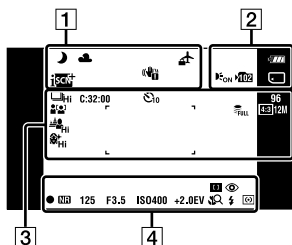
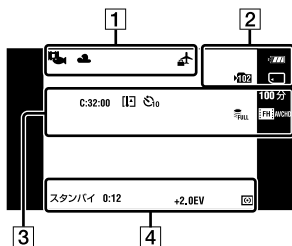
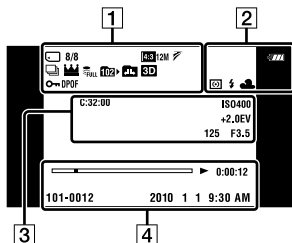
容量 / 画質/サイズ	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約32MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
AVC HD 17M FH	—	0:14:00	0:28:30	0:58:10	1:58:50	3:55:20
AVC HD 9M HQ	—	0:28:00	0:57:00	1:56:20	3:57:50	7:50:40
MP4 12M	—	0:20:40	0:41:40	1:24:40	2:52:30	5:41:00
MP4 6M	—	0:40:40	1:21:50	2:45:50	5:37:50	11:07:50
MP4 3M	0:01:10	1:15:10	2:31:10	5:06:20	10:23:50	20:33:00

ご注意

- 動画の記録可能時間は、撮影環境によって異なる場合があります。

画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

静止画撮影時

動画撮影時

再生時

1

表示	意味
	シーン認識マーク
	色合い（ホワイトバランス）
	訪問先
	おまかせシーン認識
	プレミアムオート時の重ね合わせ設定表示
	手ブレ警告
	動画撮影シーン
Q×2.0	再生ズーム
	記録/再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
	Eye-Fi表示
8/8	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数

表示	意味
4:3 12M 4:3 8M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 9M 16:9 2M STD WIDE FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質
	TransferJet設定
	連写画像
	連写代表画像
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
102	再生フォルダ
	フォルダ移動
3D	3D画像
	プロテクト
DPOF	プリント予約マーク
	目つぶり検出

2

表示	意味
	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
ON	AFイルミネーター
102	記録フォルダ
	記録/再生メディア(メモリーカード、内蔵メモリー)
OFF	Eye-Fi表示

表示	意味
W T ×1.3 S P	ズーム
	測光モード
	フラッシュ
AWB 1 2 3 WB WB 1 WB 2	色合い(ホワイトバランス)

3

表示	意味
Hi Mid Lo	連写設定
C:32:00	自己診断表示
	温度上昇警告
10 2	セルフタイマー
96	記録可能枚数
100分	記録可能時間
	顔検出
Hi Lo	ぼかし効果
Hi Mid Lo	美肌効果
FULL Error	管理ファイルフル/管理ファイルエラー警告
4:3 12M 4:3 8M 4:3 5M 4:3 VGA 16:9 9M 16:9 2M STD WIDE FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質

表示	意味
⌜ ⌝ ⌞ ⌟	AF測距枠
+	スポット測光照準
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値

4

表示	意味
	フォーカス
	赤目軽減
●	AE/AFロック
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ISO400	ISO感度
+2.0EV	明るさ（EV補正）
	拡大鏡モード
SL	フラッシュモード
	フラッシュ充電中
	測光モード
録画スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
►	再生

表示	意味
	再生バー
0:00:12	カウンター
101-0012	フォルダーファイル番号
2010 1 1 9:30 AM	画像の記録日時

もっと詳しく知りたい(サイバーショットハンドブック)

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「サイバーショットハンドブック」を見るには、Adobe Reader が必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

Windowsをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [ハンドブック]をクリックする。

3 [インストール]をクリックする。

4 デスクトップ上のショートカットから起動する。

Macintoshをお使いの場合

1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

2 [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

3 コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（63ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（15ページ）。

電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（15ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（12ページ）。

- バッテリーの端子部が汚れています。柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。
- 推奨バッテリーをお使いください。

電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- [パワーセーブ]設定が[標準]または[スタミナ]のときに操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- NP-BN1タイプのバッテリーかご確認ください。
- 長時間使用していないバッテリーを充電すると、CHARGEランプが点滅することがまれにあります。
- 点滅パターンは、速い点滅（約0.15秒）と遅い点滅（約1.5秒）の2種類があります。速い点滅のときは、バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。再び速い点滅をしたときは、バッテリーの異常が考えられます。
  遅い点滅のときは、充電に適した温度外で充電しているため、充電を一時停止した待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電を再開し、CHARGEランプは点灯になります。
  バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行うことをおすすめします。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(65ページ)。いっぱいのときは、以下のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(44ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- (静止画) / (動画)モードボタンを切り換えてください。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPROデュオ"(Mark2)、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)
- [デモモード]を[切]にしてください。

再生

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本機で再生するには「PMB」をご使用ください。

本機で画像を立体的に再生できない。

- 撮影モードを[スイングマルチアングル]にして撮影した画像のみ、本機で立体的に見ることができます。
- 3D画像はJPEGファイルとMPOファイルから構成されています。パソコン上でどちらかのファイルを削除した場合、本機の機能が正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ ～ 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 ～ 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（40ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋に入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

対応バッテリーについて

- NP-BN1（付属）は、Nタイプに対応したサイバーショットにのみ使用できます。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2010年3月現在）

- Eye-Fiカードに関する問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後5年間保有しています。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。

修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。
乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

⚠警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	 Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

その他

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.81 mm（1/2.3型）
Exmor R CMOSセンサー
総画素数：約1280万画素
カメラ有効画素数：約1220万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 4倍ズームレンズ
f=4.43 mm ～ 17.7 mm（25 mm ～ 100 mm（35 mmフィルム換算値））、F3.5（W）～ 4.6（T）
動画撮影時（16:9）：27 mm ～ 108 mm
動画撮影時（4:3）：33 mm ～ 132 mm
露出制御：自動、シーンセレクション（16 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
水中ホワイトバランス：オート、水中1、2、ワンプッシュ
信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.3、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
3D静止画記録方式：MPO（MPF Extended（立体視））準拠
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格 Ver.1.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア：内蔵メモリー 約32 MB、"メモリースティック デュオ"、SDカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 m ～ 3.8 m（W）/約0.5 m ～ 3.1 m（T）

[入出力端子]

マルチ端子：Type2c（AV出力（SD/HDコンポーネント）/HDMI/USB/DC-in）
映像出力
音声出力（ステレオ）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル：ワイド（16:9）、8.8 cm（3.5型）、TFT駆動
総ドット数：921 600（1 920×480）ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1、3.6 V
ACアダプター AC-LS5A（別売）、4.2 V
消費電力（撮影時）：1.0 W
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：97.8×59.5×17.5 mm（幅×高さ×奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BN1、"メモリースティック デュオ"を含む）：
約149 g
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

バッテリーチャージャー BC-CSN/BC-CSNB

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.25 A
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約55×24×83 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約55 g

マルチ出力スタンド

[入出力端子]

A/V OUT（STEREO）端子（ステレオ）：
ミニジャック
(USB)端子：mini-B
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）
HDMI端子
DCIN端子
カメラ接続端子

リチャージャブルバッテリーパックNP-BN1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.3 Wh（630 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティックデュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア"、"ブラビアプレミアムフォト"、DVDirect、TransferJet、TransferJetロゴ
- Blu-ray DiscおよびBlu-ray Discロゴは商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS、iMovieはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXC、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、「プレイステーション」は同社の登録商標または商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- OBEXは、Infrared Data Associationの登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

付属ソフトウェアのサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口
フリーダイヤル..........0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話..........0466-31-2511
最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「#」を押してください。
本機や付属品：「401」
付属ソフトウェア「PMB」：「404」
受付時間：月〜金 9:00 〜 18:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル..........0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話..........0466-31-2531
最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。
受付時間：月〜金 9:00 〜 20:00　土・日・祝日 9:00 〜 17:00
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

■製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

製品登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

4193355010